SDGsの取り組みについて

The Okura
TOKYO

2021年8月

The Okura Tokyoは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

ホテルオークラ東京は1962年、
“海外の模倣ではなく、日本独自のホテルの創造”を目指し創業いたしました。

創業から掲げる「世界に通じる日本の美と心」をそのままに、
2019年ホテル名を「The Okura Tokyo」と改め開業いたしました。
新時代に映える日本の魅力を発信し、
国際都市東京にふさわしい機能を持ったホテルを目指し
「新たな50年に向けてのビジョン」を掲げています。
このビジョンはホテル事業を通じ国連が提唱する
持続可能な社会への実現（SDGs）への推進活動に直結しており、
今後も各種活動や取り組みを強化させ
更なる推進を図り全社的に取り組んでまいります。

新たな50年に向けてのビジョン

ただ、ひとつの ホテルとして。

半世紀追求してきたBest A.C.S.を
さらに飛躍させ、世界最高品質を
お届けするホテルになります。

和を継ぐ ホテルとして。

日本の伝統文化と美徳を受け継ぎ、
OMOTENASHIを大切に、
その魅力を世界に伝えるホテルになります。

人生に刻まれる ホテルとして。

関わるすべての人とのつながりを深め、
社会や環境との共栄を実現し、
愛着と敬意と誇りを抱かれるホテルになります。

ただ、ひとつの
ホテルとして。

半世紀追求してきたBest A.C.S.を
さらに飛躍させ、世界最高品質を
お届けするホテルになります。

Best A.C.S.＝Best Accommodation, Best Cuisine, Best Service

先進の技術で、
地域や環境への
取り組みを。

CO_2削減と快適な環境の両立

13 気候変動に具体的な対策を

ホテル、オフィス、美術館の複合施設という特性に合わせた熱源・電力システムの一元化や、
大規模蓄熱槽の導入により、各棟のピークタイムに対応した効率的なエネルギー連携を実現。
また、LED照明や人感センサー付き照明などの省エネ機器や、排水・排熱の利用により、
CO_2の排出を抑え、建物全体で環境対策を実施しています。

環境保護をお客様とともに

13 気候変動に具体的な対策を

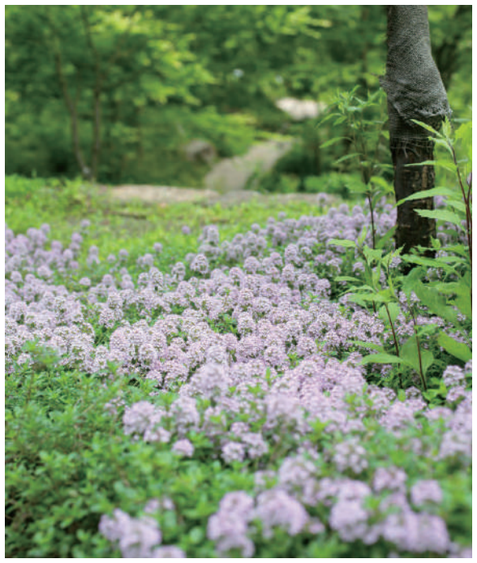
紙製ストローの使用やプラスチック製ビニール袋の廃止、
リネンの無交換の呼びかけ、紙類の電子化など、
お客様にも環境保護を意識していただく活動を実施しています。

快適で安全性の高い都市計画

11 住み続けられるまちづくりを

数百年に一度の巨大地震でも倒壊しない高い耐震性能を確保。非常時のライフラインとして、
非常用発電機と72時間超分のオイルタンクを備え、耐震性の高い中圧ガスの引き込みを行い、CGS※を導入。
複数の上水・雑用水源と一次貯留用排水槽も装備しています。また、港区との間で一時避難場所（約5,700㎡）の提供と
帰宅困難者の受け入れを定める災害協定を締結し、飲料水や非常食、毛布等も備蓄しています。

※CGS:Co-Generation System（コージェネレーションシステム）
石油やガスなどの1次エネルギーから2種類以上の2次エネルギーを取り出す仕組みや設備装置のこと。



リサイクル、リユースをさらに

12 つくる責任つかう責任

ごみのリサイクルや分別を徹底。また、フードロスの削減や
生ごみ処理機の設置による厨芥処理量の減少などに努めています。

地域に憩いと緑を

13 気候変動に具体的な対策を

敷地面積（25,500㎡）※の半分に相当する大規模な公園緑地を整備。
北側は5,000㎡超の庭園として一般に開放、東側の2,500㎡は
港区立江戸見坂公園として港区に提供しています。
高木400本、中木1,100本、低木51,000株を配置し、
クールスポットを創出しています。

※大倉集古館敷地および港区に提供した江戸見坂公園2,500㎡を含む。

「サステナブル建築物等先導事業（省CO_2先導型）」に認定

効率的なエネルギーの利用、地域とも連携した防災対策やクールスポットの形成、
省CO_2対策などが評価され、優れたリーディングプロジェクトとして認定されました。

港区より「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」において「CO_2固定量を認証した建築物」として認定

港区内の建築物等での協定木材または国産合法木材の使用を促し、
その使用量に相当する二酸化炭素固定量を区が認証する制度において認定されました。

「第40回緑の都市賞 国土交通大臣賞」受賞

敷地の約半分を地域に開放し、四季折々の樹木や芝生広場を配置。
武蔵野台地の崖線と、「坂」の有する土地の記憶を掘り起こし、
新たなランドスケープを創りだしたと評価されました。

和を継ぐ
ホテルとして。

日本の伝統文化と美徳を受け継ぎ、
OMOTENASHIを大切に、
その魅力を世界に伝えるホテルになります。

おもてなしの心で、
過去から未来へ人をつなぎ、
文化を受け継ぐ。

ロビーコンサート25

メセナ活動の一環として1987年に開始。毎月25日、指揮者の大友直人氏の監修のもと、音楽家の方々を招いて無料でコンサートを開催しています。

ホテルオークラ音楽賞

有望な音楽家を育成・支援する奨励制度で年1回受賞者の記念コンサートも開催しています。

The Okura Tokyo Cultural Fund

2017年8月
「公益社団法人 南都楽所（なんとがくそ）」
雅楽・舞楽を伝承し、奈良をはじめ各地の社寺の伝統行事の継承を担う活動を支援。

2018年6月
「特定非営利活動法人 あっちこっち」
子どもたちを中心に、美術・音楽・ダンスのワークショップで国際文化交流を行う活動を支援。

メセナ活動の更なる飛躍を目指し、2017年に設立。当ファンドは、公益社団法人 企業メセナ協議会が運営する「2021 Arts Fund」内に設置・仕組みを活用。「音楽」「美術」「国際交流」の分野に沿った芸術・文化活動に、寄付や助成を行っています。

The Okura Tokyo CULTURAL FUND

1987-　1996-　2017-

ホテルオークラ第九コンサート

世界を舞台に活躍する音楽家と60名を越えるオーケストラに加え、音楽ファンとホテルスタッフの有志が「第九」を歌うコンサートを開催。4年ごとに第6回まで回を重ねました。

アートコレクション展

鑑賞の機会が少ない貴重な美術品を集めて広く一般の方々に公開。チャリティーイベントとして収益を寄付しました。

累計動員：57万人以上
寄付金総額：¥178,000,000

10ヵ国のガーデニング展

世界10ヵ国の駐日大使、大使夫人が、自国の文化や伝統を表現した庭園を創作。世界84ヵ国、累計180の庭園が生まれました。

累計動員：29万人以上
寄付金総額：¥8,250,375

匠 of Japan

客室フロアの廊下壁面に100ヵ所のショーケースを設置。全国47都道府県から、日本における最高峰の伝統的工芸品を展示し、「世界に誇る日本の美」を体現しています。

1987（4年ごとに6回開催）-2012　1994（'95年以外24回開催）-2018　2000（'11年以外18回開催）-2018　2019-

公益財団法人大倉集古館との連携

ホテルオークラの創業者・大倉喜七郎の父である大倉喜八郎が設立した、日本で最初の私立美術館。国宝3件、重要文化財13件および重要美術品44件など約2,500件の美術品を所蔵。美術館を敷地内に有するホテルとして、お客様に豊かな時間を提供しています。

1917-

Charity Project for Music

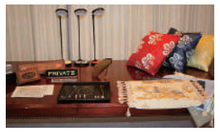
ホテルオークラ東京本館建て替えに伴い、館内備品類の一部を一般販売し、音楽活動の発展のためのチャリティーを実施しました。

reUfunding

「reUfunding」
客室やレストランで使用していたテーブルセットやソファーなどの家具類300点以上をオークション販売。

チケットぴあ

「リメンバープロジェクト」
本館で使用されていた備品や壁紙などさまざまな素材を加工・商品化し、一般販売。



収益の一部は、東日本大震災の被災地である福島県相馬市と岩手県大槌町で子どもたちの音楽教育活動を支援している「一般社団法人 エル・システマジャパン」へ 寄付。

寄付金総額：¥28,722,223

FRIENDS OF EL SISTEMA JAPAN

2015

人生に刻まれる
ホテルとして。

関わるすべての人とのつながりを深め、
社会や環境との共栄を実現し、
愛着と敬意と誇りを抱かれるホテルになります。

従業員、地域、お客様、
すべてのつながりを、
一つひとつ大切に。

安心安全を第一に

食品衛生管理委員会を設置し、食中毒対策研修や手洗い講座などを定期的に実施。感染症予防対策の国際的な衛生基準を満たし、GBAC STAR™認証※も取得しています。

※GBAC STAR™認証とは…世界的な洗浄業界団体（ISSA）にて洗浄、消毒および感染症予防のプロトコールを実施する施設の運営基準を提唱している部門、Global Biorisk Advisory Council（GBAC）による国際的認証プログラムです。

安全性の強化を一人ひとりで

救命救急講習の定期開催により、有資格者80%を維持。自衛消防訓練や災害対策訓練も定期的に実施し、従業員一人ひとりの対応力を強化しています。

お客様に
安心と信頼を

地域との
つながりや
絆を

従業員に
働きやすさと
やりがいを

大学・
研究機関との
連携強化を

大規模災害などに支援を

被災地支援や医療従事者支援などのために募金活動を行い、いただいた義援金を公的法人などに寄付しています。

地域の一員として

港区の「芝地区クリーンキャンペーン～路上喫煙ゼロのまち～」や「西久保八幡神社祭礼」に参加（2012年～）。また、「東京都精神障害者スポーツ交流会」でボランティア活動にも参画いたしました（2006～2018年）。

各種委員会の設置

「情報セキュリティ委員会」「コンプライアンス委員会」「危機管理委員会」「防犯防災委員会」「労働安全衛生委員会」「食品衛生管理委員会」の定期開催。さらに各委員会を統括する「内部統制委員会」により、法令順守や企業価値の向上に努めています。

ダイバーシティの推進

相談相手の性別を選べる「ヘルプライン」を設置し、ヒアリングシートの配布や投函箱の設置、ハラスメント研修を実施。育児・介護休暇の拡充と取得促進、休職者の環境整備にも取り組み、快適な職場環境作りを目指しています。また、専門学校生の研修やインターンシップの受け入れも積極的に行っています。

充実した子育てサポート

積極的な育児休業取得促進、法定を上回る制度を整備。「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定を受けた証である「くるみんマーク」を2010年度、2012年度、2014年度に取得しました。

独自のeラーニング講座*

日本語版255講座、英語・中国語版41講座（9分野55科目）のeラーニングを用意。これまでのノウハウを結集したオリジナル教材をオンラインで学び、お客様への接客に活かしております。

東京経営短期大学との産学連携*

2021年度より同大学と連携して2年制「観光ホスピタリティコース supported by Hotel Okura」を新設。カリキュラムの策定や講師派遣等を通じて支援し、将来は同コースの卒業生の積極的な採用を予定しています。また、海外グループホテルの人材育成として、従業員が同コースに留学して学べる制度も用意し、グループ全体でスタッフ一人ひとりのスキル向上につながるよう取り組んでいます。

東京マスダ学院調理師専門学校との連携*

海外グループホテルで働く有望な若手調理スタッフが同専門学校に留学し、本格的な日本料理の調理技術を学べる制度を整備。将来、海外ホテルで中核となる調理人の育成を図ります。

*株式会社ホテルオークラ主導の活動です。